

児童の地図作品の紹介

今号は、第22回神戸市小学校社会科作品
吉永美穂さんの作品を紹介します！



！工夫はここ！！

防災設備の位置を示すピンと写真を糸でつないだところ。

成徳の防災
 姓名 成徳
 6 吉永 美穂
 年 4 2 2

神戸市ハザードマップ13枚が下に収納できる。

神戸市小学校社会科作品展

「神戸市小学校社会科作品展」は、今年（2024年）で第23回を迎えます。子どもたちが夏季休業中の自由課題として取り組み、作品の内容は、「神戸に関係の深いもの」「SDGsに関係するもの」「地図に関係するもの」など多岐にわたります。第22回作品展は、

神戸市内の小学校から約 650 点の作品が出展されました。毎年、国土交通省国土地理院長賞、日本地図センター理事長賞など6種類60点ほどの優秀賞が選出され、出展された全作品が9月中旬の2週間にわたって、「コミスタこうべ」に展示されます。

(神戸市教育委員会)

2023夏休み自由研究

〈形ツリーズ6〉

街の形2 成徳の防災

成徳小学校 6年2組 吉永美穂

▼取材した場所を紹介。

平常時



←甲橋 群賢川



←上流側から 下流側



←錦源橋

洪水時



←阪中 大石駅 付近



甲橋付近



←河口部

⑨ 防潮鉄扉 防潮水門



←新在家南町線



・高潮が予想された際、ゲートを道路に横断してスライドさせて海水の浸入を防ぐ
・運河側の内水はポンプによって海側へ排水する



←新在家水門



◎ 作成者 兵庫県神戸市立成徳小学校 6年 吉永美穂

成徳の防災

神戸の街で起こった災害は、阪神淡路大震災だけではなくのではないかと普段の街歩きや六甲山登山の時から気になっていた。今回の夏休みにこれまで経験したことのない大雨が降り、過去に区内の都賀川で命が失われる水害があったことを知った。また、学校の授業で仙台市の同級生とオンラインで交流したこともあり、様々な防災について調べて生活に生かしたいと考えたのが研究のきっかけである。

正確な情報を入手して現地で現物を確認し、4年生で学んだ等高線の知識を元に立体地図を作製した。地図作りは砂防堰堤の数が多く、都賀川と住吉川流域のみで100箇所以上もある位置をピンで指す作業が大変だった。

最も工夫した点は、防災設備の位置を示すピンと現地写真を糸でつないで分かりやすくしたことである。立体地図の下に各種ハザードマップを収納して様々な災害について素早く情報を得ることができるようにした。

私たちの住む街には地震や津波、水害、土砂災害などに対する様々な防災設備が整備されており、気づかないうちに守られていることが分かった。ただし、これらの設備に頼り切らず、自分たちが防災に取り組むことが大切だと思った。

(学年は作成時)

◎ 全国児童生徒地図優秀作品展での講評

立体地図として神戸の地形がよくわかる作品です。特に流域を色分けして、わかりやすい地図になっています。また、ハザードマップから危険箇所を抽出したほか、多くの情報が簡潔にまとめられており、引き出しや糸を使うなど見せ方も工夫されています。防災という課題をど

のように地図表現したらより多くの人に伝わるかを考えたものであり、見た人が防災について考えることに繋がる作品となっている点が評価できます。

(国土地理院ウェブサイトより)

* 吉永さんの作品は、第22回神戸市小学校社会科作品展では国土地理院長賞を、第27回全国児童生徒地図優秀作品展では国土交通大臣賞を受賞されました。